



エムジーエコ



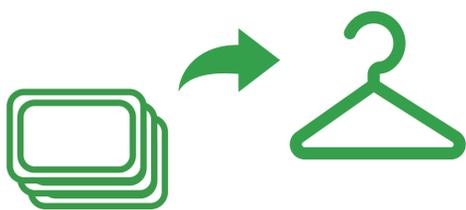
エムジーでは、環境問題への取り組みを行っています。

3R

Reduce(リデュース) 減らす
Reuse(リユース) 再利用
Recycle(リサイクル) 再資源化

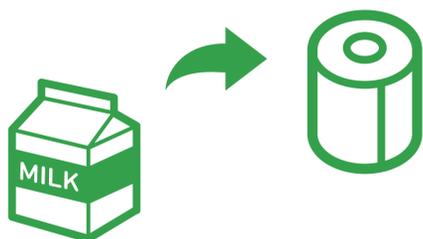
3Rの推進に対するエムジーの取り組みについて

R トレーの回収



発泡スチロール製食品トレーを店頭にて回収し、処理事業者に委託し、再商品化を行っています。
店頭の回収BOXに持ち込まれる際には、食品が残らないように水洗を行い、リサイクルしやすい状態での持ち込みをお願いいたします。
汚れ等が付着したプラスチック製容器包装は資源として出さないように願います。
また、当社では店内で販売している発泡スチロール食品トレーのみ回収しておりますので、その他の容器包装は、市町村の収集ルールにあわせてお出し願います。

R 牛乳パックの回収



牛乳パックの回収も行ってあります。
パックは中味を洗浄し、切り開き、よく乾かしてから回収BOXへお入れください。
ジュースやウーロン茶など紙パックでできている容器はどれもOKですが、内側にアルミニウムを使用しているものは回収できません。ご協力お願いいたします。
回収された牛乳パックは再資源化によりトイレトペーパーなどに变身します。
(牛乳パック30枚でトイレトペーパー5コ、BOXティッシュ3・4箱に生まれ変わります)

R レジ袋の有料化



エムジーでは平成20年6月に「京都市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減等に関する協定」を締結し、レジ袋の削減に取り組んでまいりましたが、平成21年1月23日より、レジ袋を有料化することにより、3月末現在、約78%のマイバッグ持参率を達成いたしました。
今後も地球温暖化の防止を広く呼びかけ、持参率90%を目指し活動いたします。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

R ゴミの社内分別



従来の段ボールと生ゴミとの仕分けを、ゴミ減量と再資源化の推進のため、より細分化を進めています。
再資源化可能なゴミは、原料別に社内にて分別を行い、処理事業者に委託し、再資源化をおこなっております。
限りある資源を有効に利用し、循環型社会の実現に貢献します。

CO²の削減

照明器具を見直すことにより、CO²の排出量の削減をめざします。

20年度に大徳寺店の店内照明器具を高効率反射板付省エネタイプに変更することにより、年間2268kg(推定理論値)のCO²の削減を行いました。
(石油換算1525リットル)

今後も順次店舗照明の見直しをおこない、CO²の削減を目指します。

また、社内におきましても無駄な照明や水道の削減を推進いたしております。